

Semester 1 の終業式に当たって、一つだけお話しします。皆さんの誰もが一度は聞いたことのある話です。

皆さんは MOIS で「世界の未来のつくり方」を学んでいます。皆さんは「真の学力」「未来の学力」を身につけています。それは、自分自身がより良く生きるための学力であり、より良い世界を築くことができる学力です。

皆さんが進んで行く道は、未来に向かう道です。その未来は、皆さん自身の未来でもありますが、さいたま市の未来でもあり、日本の未来でもあり、そして世界の未来です。自分の未来を予測することさえ難しいのに、世界の未来をつくるなんて無理なんじゃないか。皆さんはそう思うかも知れません。確かに明日のことは予測できても、10年後の未来は予測できません。でも、予測できないからと何も考えずに過ごしていると、自分では望まない未来に世界は進んで行ってしまいかも知れません。

では、より良い未来にするための答えはどこにあるのか。正しい答えは「まだ」「どこにも」ありません。その答えを探して、見つけるのは皆さんです。もし見つからなければ、皆さんがその答えを作らなければなりません。そんな大それたこと、自分にはできるわけない。そんな大変なこと、誰か他の人にやって欲しい。皆さんはそう思うかも知れません。でも、そう思う先に待ち受けているのは、皆さんが望まない未来なのです。

自分の、自分たちの、自分の愛する人たちの未来をあきらめないこと、人任せにしないこと。そして、そのためには自分に何ができるのか、何をすべきなのか。今日からの6年間で一緒に考えて、励まし合って、見つけていきましょう。そのためにまず、志を高く持ちましょう。そして、その志を実現するために必要な力を、ここ大宮国際中等教育学校で身につけていきましょう。

そのための MOIS での学びは、必ずしも楽しいことばかりではありません。各教科で様々な課題が皆さんに与えられています。それは簡単にクリアできるものとは限りません。けれども、MOIS の入学者選抜をくぐり抜けて入学を果たすことができた皆さんなら、必ず乗り越えられるハードルです。

課題以外のことでも、皆さんは必ず何かしら困難にぶつかることでしょう。時には乗り越えられないと感じるかも知れません。しかし、その困難を乗り越えた先には、今よりもっと成長した皆さんの姿が必ずあります。それを目指して、折れないしなやかな心を身に付けながら、くじけず、いやにならず、あきらめないで、互いに励まし合って、楽しみながら、困難を乗り越えていきましょう。

これは、1期生から4期生まで、全ての入学式で私がお話しした内容です。MOIS での学習をはじめとした学校生活を経験していなかった時と違って、いま改めて聞いてどう感じるでしょうか？

明日からの秋休みで、自分自身を見つめ直してみてください。